

園庭には秋の花が咲き始め、一ヶ月おやすみしたお茶のお稽古も、再開いたしました。運動会の練習も始まって、運動会の練習の「動」、お茶のお稽古の「静」どちらも大切なぞうぐみさんの経験の時間です。

久しぶりにもかかわらず、お稽古を楽しみにしていた気持ちが伝わってきて、充実した楽しい時間を過ごせました。お道具の名前や約束事もよく覚えていてうれしく思いました。

お茶のおけいこもどんどん進み、もっと新しいことを覚えて、卒園式にはご父兄にご披露できるとはりきっております。

*9月のお干菓子



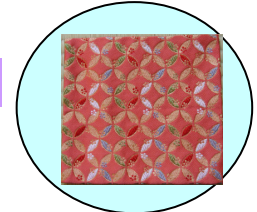
“桔梗” “うさぎ”

*9月のお花



- * 水引草 みずひきそう
- * 玉すだれ
- * コスモス

古帛紗



金襴や緞子などの名物裂といわれる裂地で作られています。

今月は、今までの復習と、古帛紗の使い方を練習いたしました。

(お茶を運ぶためには、古帛紗にお茶碗を乗せて運びます。お茶碗も滑らず、熱いお茶が入っていても大丈夫です。)



お扇子を前に出してご挨拶!



左手に古帛紗を乗せて、その上にお茶碗を乗せ、右手でしっかりと持ちましょう



模様をお客様の方へ回して!



*豆知識「和・敬・清・寂」

お茶の心を表す大切なことばです。千利休が500年位前に4つの文字で言い表しています。お茶を学ぶということはこの心を学ぶことです。

和…お互いどうしが仲良くすること。わかり合えることです。

敬…好き嫌いを超えて、相手を敬う心です。

清…心の中が清らかであること、自分自身が、自分の力で、自分の気持ちを浄めることを努力することです。

寂…心の中がどしんと落ち着いていて、何物にも動じない心、いざと言う時に後で悔やんだり、失敗しないためには、予め準備をして心のゆとりを持つことが大切です。